

令和5年度 of 取組成果に係る会議意見／回答

総合計画総合戦略及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

会議意見

| 項 目  | 意 見                                                                                                                                                                                                                                        | 回 答                                                                                                                                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標人口 | <p>・令和5年度の合計特殊出生率の実績が1.61であるが、今回が目指す目標が2030年までに2.07が掲げられている。</p> <p>・移住者政策等もうまく人口増に繋がってるということだと思うが、今後の目標に向けての見通しなどは、どのようになっているか。</p>                                                                                                       | <p>・昨年度については、社会増対策ということで、移住者は数字として見えていますが、自然増対策としては、3つの完全無料化であったり、効果が発現するにはもう少しばかり時間がかかると考えております。</p> <p>・実際に移住していただいた方の約8割が40歳以下の世帯でございますので、これから自然増については、効果が見えてくると考えております。</p> <p>・引き続き目標達成に向けて自然増対策についても取り組んでいきたいと考えております。</p> |
| 移住施策 | <p>移住者が急増したことで、社会的な問題などがあると思うが、それに対する政策を進めていく可能性はあるか。</p>                                                                                                                                                                                  | <p>・移住者が急増したことで、保育所の入所や、小学校の教室不足などの問題が生じていますが、その都度、新たな問題点を洗い出して、対応してまいりたいと考えております。</p> <p>・課題は、現場の方から市へ上がってきているため、こういった課題がでてきているのか聞き取りを行っている状況です。</p>                                                                            |
| 移住施策 | <p>・事前質問に対して、「移住者のみに起因する直接的なトラブルは把握していない。」と回答されているが、先ほどの事務局の回答（現場から市に情報が上がってきている）と矛盾していないか。移住支援金を受けた後に、市の福祉課の方で、生活困窮の相談に行っている事例というのがあるという話も聞いている。</p> <p>・また、中山間地域に移住してきた若い方たちが地域の公民館に入らず、地域の方とうまくコミュニケーションが取れてないという話も聞くが、それも把握していないか。</p> | <p>・情報提供があった際、勘違いであったり、一概に移住者に起因するトラブルとは言えなかったことなどを聞いていますので、全体の状況が把握がつかない中でも、情報としては都度いただいているという形で対応しているというのが正確な回答です。</p> <p>・また、個別に例えば、議員さんを通じて加入していないんじゃないかという問い合わせ等がございまして、対応した事例がございます。</p>                                   |

| 項 目    | 意 見                                                                                                                                | 回 答                                                                                                                                                   |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 移住施策   | 地域子ども達が、県内に残らないと言う話が先ほどあったが、Uターン、Iターン、特に30歳そこそこで戻ってきたりする人達に対する手厚い支援・政策があれば良いと思う。                                                   | Uターン組の窓口の機能をどこに置くかということもごさいます。学校構成員でしたら霧島工業クラブさんが受け皿となってると思いますが、工業高校とか実業系の学校も多いと認識しております。Uターン組をどの程度フォローされているのかは、把握しておりませんが、そういった対策も必要と考えております。        |
| 移住施策   | 多額の移住支援金が交付されたと思うが、支援金目当てに都城市に移住したらという話も耳にする。不正に近い事例がないか教えていただきたい。                                                                 | ・報道でもありましたが、要件を満たさなくなつて返還となつた事例はごさいます。<br>・移住応援給付金が支給されて、近隣からの情報があつた際には、仕事や居住の実態など調査をした上で、返還要件に該当する場合は返還を求めていきます。                                     |
| 地域公共交通 | 中山間地域のコミュニティバス、乗り合いタクシーの利用者が激減しているが、実際、過疎エリアで買い物難民の方とか、移動手段に困っている方々が多くいらっしゃるのを目にしたことがある。先ほど、事務局からコロナが要因との説明があつたが、何か大きな理由があるのか。     | コミュニティバスに限らず、市内や市町村を繋ぐ広域の路線、JRも含めて、全ての公共交通の利用者が減少したという傾向がございました。コロナ以後は、市内を運行するJRや路線バス、それからコミュニティバスに関しましても、今利用者が戻ってきている状況ですので、全体的にはコロナの影響と認識しているところです。 |
| 地域公共交通 | 中郷は、今、中山間地区の指定を受けてやっている。高齢の方々がバス停まで行くのが大変だし、買い物荷物の持つて、バスに乗って帰れない方がいらつしゃる。まち協の方々と相談しながら進めているが、有効な手立てが見つからない。そういう方々を助けていく政策、手立てはないか。 | 中郷地区の方々は、庄内地区のようなものを導入できないかというところでお話をされていると認識しております。今後、市も協議の場には積極的に参加して一緒にやっていきたいと考えております。                                                            |

令和5年度 of 取組成果に係る会議意見／回答

総合計画総合戦略及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

会議意見

| 項 目   | 意 見                                                                                                                                                        | 回 答                                                                                                                                                                                                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| こども施策 | 空き待ち児童解消のための利用定員を緩和することにより、受け皿の確保を行ったことは、現場で感じているが、保育士がいない。保育士1人に対して、何人が受け入れられるか決まっているため、受け入れられないのが現実。市では保育士の就職支援金などの取組をされているが、保育士を何とか確保できる体制や知恵などをいただきたい。 | 現在、保育士になっていただいた方には、支援金を支給する取組をしておりますが、なかなか人が集まらないという状況がございますので、引き続き確保できるような対策がないか検討してまいりたいと考えております。                                                                                                            |
| こども施策 | シングルマザーやシングルファーザーの家庭が増えているが、所得は低い傾向にある。食事などの生活面で子ども達をどのように持っていけば良いか考えているが、市としての分析はあるか。                                                                     | 子供の居場所という考え方で、現在、関係部局と議論をしています。所得は、働き方などが影響しますので、セーフティーネットの部分の併用をしながら支援していく必要があると考えております。                                                                                                                      |
| こども施策 | フードバンクや子ども食堂は、本来であれば行政側がすることだと思うが、ふるさと納税による収入を充てる余地はないか。                                                                                                   | フードバンクについては、既に民間で協力いただいております。企業との連携もしていただいております。財源を投入する事業化については、庁内で議論していく必要があると考えております。                                                                                                                        |
| 移住施策  | 令和6年度の移住応援給付金は、令和5年度と比べると支給額が大幅に減額されているが、なぜ減額されたのか、令和5年度の効果検証も含め教えていただきたい。                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度、大胆な政策を打ったおかげで移住者が増えましたが、急激な増はいろいろ課題も出てきますので、精緻化する意味で見直しを行っております。</li><li>・社会増が大体1,500人ぐらいになれば、自然減よりもプラスで緩やかな人口増に繋がるだろうということで、1,500人を目標に数字を精緻化しているという状況です。</li></ul> |

| 項 目     | 意 見                                                                                                                                                                                                   | 回 答                                                                                                                                                                                                  |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中山間地域対策 | 過疎化の地区と言われるところは、年々高齢化率が上がっている。若い人がいないと、跡継ぎがいらないから、どんどん空き家が増えてくるというような状況であり、公民館が運営できなくなっている。中山間地域における対策があれば、教えていただきたい。                                                                                 | ・中山間地域は、中山間地域振興計画を策定し、政策をいくつか掲げております。具体的な事業については、先ほどの買い物支援とか、コミュニティバス、北九州市立大学と連携したフットパス事業などを地域の活性化の取り組みの一環としてやっております。<br>・即効性のある事業というのは正直厳しい部分もございますけれども、継続して、新たな事業も考えながら、中山間対策には取り組んでまいりたいと考えております。 |
| 中小企業の振興 | ・新卒の採用は、県外の大手企業に取られており、地元への就職が少ない。地元の子ども達が地元の企業を知る機会も少ない。<br>・都城の企業のほとんどが中小企業であり、中小企業では地元の新卒を採用し、教育して一人前の社会人に育てるよう取り組んでいるが、人手不足という状況がある。このような課題に中小企業単独では取り組めないため、今回、条例もできたので、条例も絡めながら、政策として打ち出されると良い。 | 地元企業を知っていただくために、企業巡見や就職説明会など取り組んでおりますけれども、地元事業者を十分認知されてない状況もあるかもしれませんので、今後、やり方を考えないといけないと考えております。                                                                                                    |
| 中小企業の振興 | 中小企業の経営体力があまりないため、デジタル化の部分で、なかなかホームページの整備とか SNS の整備が進まない状況が宮崎県全体である。人材確保を含め、デジタル化の部分で中小企業を支援していく必要がある。                                                                                                | ・昨年条例を作ったばかりですので、実効性のある事業をしていきたいと考えております。<br>・政策については、意見交換をしていただけると助かります。私達も事業化したいと思っておりますので、そこでニーズが何なのか、どういったことをやってほしいのか、ご意見いただければと考えております。                                                         |